

平成18年度文化庁芸術拠点形成事業

AI・HALL+岩崎正裕 共同製作

心カ追送

中島らも『口カ』より

原作 / 中島らも
構成・演出 / 岩崎正裕

出演
寺田剛史
奇異保
亀岡寿行
森本研典
石橋和也
金明玉
中田絵美子
中元志保
岡本廣子

2006年
11月9日(木)~12日(日)

AI・HALL

出演

寺田剛史(飛ぶ劇場)
奇異保(兵庫県立ピッコロ劇団)
亀岡寿行(桃園会)
森本研典(劇団⊕太陽族)

石橋和也
金明玉
中田絵美子
中元志保

岡本康子

2006年
11月9日(木) 19:00
10日(金) 19:00
11日(土) 14:00/19:00
12日(日) 14:00

※開場は開演の20分前。
開演の1時間前より受付を行います。
※未就学児童のご入場はご遠慮ください。

アイホール (JR伊丹駅前)
〒664-0846兵庫県伊丹市伊丹2-4-1
☎072-782-2000



料金
前売 2,500円
当日 3,000円
ユース(25才以下) 1,800円
(年齢を証明するものを提示・アイホールで予約のみ取扱い)

〈日時指定・整理番号付自由席〉

チケット取扱い
電子チケットびあ ☎0570-02-9966 (Pコード371-832)
☎0570-02-9999 (オペレーター対応)
アイホール ☎072-782-2000

問い合わせ
アイホール ☎072-782-2000
aihall@juno.ocn.ne.jp
http://www6.ocn.ne.jp/aihall/

ルカ追送

〜中島らも『ロカ』より〜

AI・HALL+岩崎正裕 共同製作

原作／中島らも『ロカ』(美業之日本社)
構成・演出／岩崎正裕



面接試験でもなければ、こんなトンマな質問はないだろうが、「あなたの尊敬する人は誰?」と問われたら、僕は今なら迷わず「中島らもさん」と答えるだろう。もちろん、尊敬されたご本人は鼻白んで「迷惑や」と咳かれることは想像に難くない。「尊敬」は四十歳を越えた僕にとって、むしろ「憧れ」と同義である。そうならない自分を確認したうえで、「中島らも」の存在に惚れてしまうのである。らもさんの小説、エッセイは活字を読む楽しみを存分に堪能させてくれた。らもさんの音楽=ROCKは権威に追随したくない自分の道標となってきた。アイホールと共同で、これから三ヵ年の間、一年に一本の作品を創ることになった。「好きなことをやっていい」と云うんだからこれは嬉しい。早速、らもさんの絶筆となった『ロカ』をモチーフに新作を創ることを提案した。『ロカ』は絶筆ゆえ、未完のまま出版された小説である。主人公ルカはダブルネックのギターを持ち、近未来のらもさんと二重写しとなる。途切れた物語の先に何があるのか。おそらく物語を繋ぐことは僕にはできない。また、してはならないのだと思う。演劇的暴力を頼りにしてみる他はない。「憧れ」を反転させることを恐れずに、『ルカ追送』にたどりつきたい。 岩崎正裕

舞台監督/清水忠文、岡一代(TANC!池田意匠事務所)
照明/西崎浩造(エスエフシー)
音響効果/堂岡俊弘
舞台美術/柴田隆弘
小道具/水野泰彰(A-Sura)
衣裳/宮田志緒
演出助手/林慎一郎
宣伝美術/下東英夫
イラスト/長谷川義史
写真/石川隆三(スタジオSTR)

協力/中島美代子・小堀純・劇団⊕太陽族
兵庫県立ピッコロ劇団・桃園会・飛ぶ劇場
(有)アコースティックブラザ丼上楽器
主催/伊丹市・(財)伊丹市文化振興財団
企画製作/アイホール

アイホールでは今年度より3年計画で、二人の演劇人=岩崎正裕と小原延之と共同で作品創作を手がけます。出演者は関西を代表する俳優たちとワークショップから選抜された新鋭たち。90年より6本の作品を制作したAI・HALLプロデュース以来、10年ぶりにアイホールが演劇作品製作に着手します。乞う、ご期待!